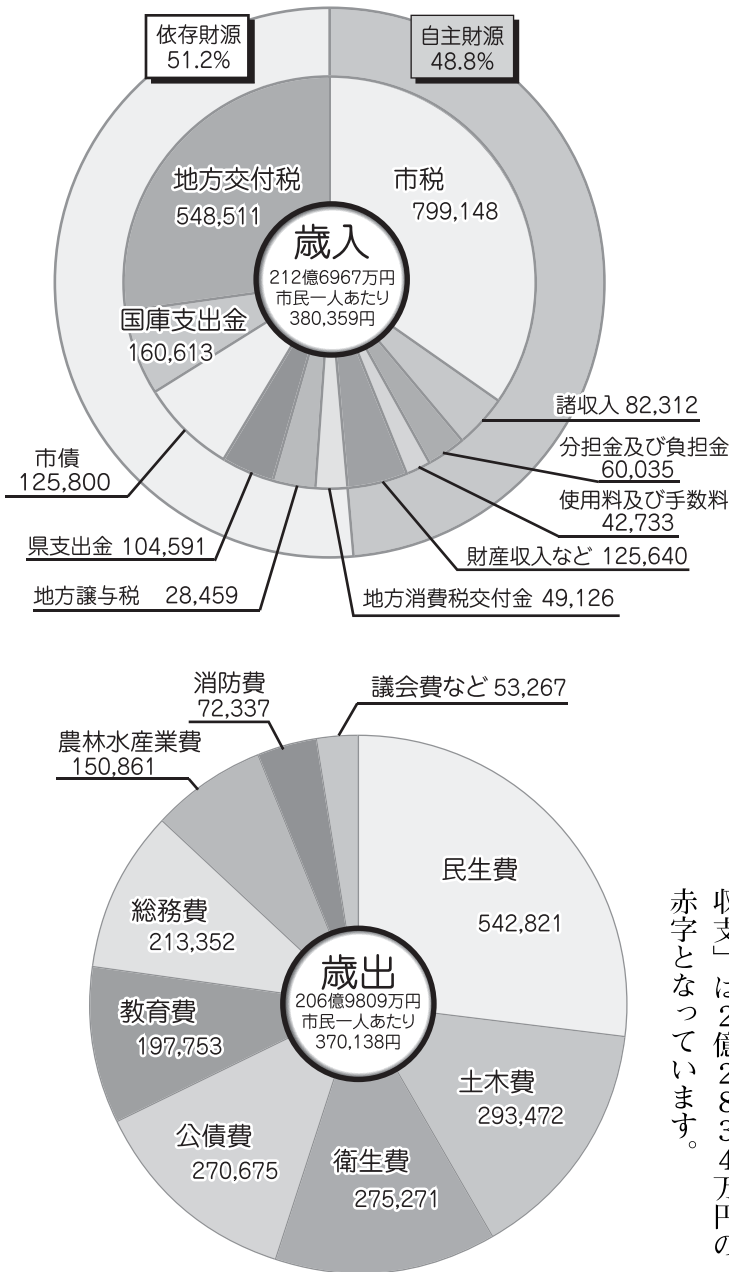


笠岡市の平成19年度決算の概要

【グラフ 1】一般会計決算（単位：万円）



会計の種類と決算の状況

笠岡市の平成19年度の決算がまとまりました。一般会計、特別会計、企業会計を合わせた歳出の総額は444億3459万円。前年度に比較して約3.4%の増加となっています。

笠岡市の平成19年度の決算の概要をお知らせします。

笠岡市の会計は、福祉や教育・建設など、一般的な行政サービスを行うための「一般会計」と、事業ごとに独立させた方が効率よく運営できるものを一般会計とは切り離して経理している「特別会計」、さらに地方公営企業法の適用を受け経理している「企業会計」に分かれます。平成19年度の一般会計の決算額は、歳入が212億6967万円、歳出が206億9809万円

で、それぞれの内訳は【グラフ1】のとおりです。

特別会計には、国民健康保険事業や下水道事業、介護保険事業など11の事業会計があり、企業会計は水道事業と病院事業の2会計で、決算の状況は【表1】のとおりです。

普通会計（※）の歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は5億円以上の黒字ですが、基金の取崩・積立などの影響と前年度までの収支の累計を控除した「実質単年度収支」は2億2834万円の赤字となっています。

また、水道事業会計は5881万円の当期純利益、病院事業会計は1150万円の当期純損失の計上です。

一般会計の歳入の状況

一般会計の歳入は前年度に比べて約2億7531万円（率にして1.3%）の増加です。

この主な要因は、財政健全化を図るために実施された公的資金補償金免除繰上償還（ローンの繰上返済に相当）の財源として財政調整基金（一般家庭で預貯金に相当）等からの繰入金が4.2億円（295.2%）と大幅に増加したためです。市税は6億円（9.1%）増加し、地方譲与税は4.2億円（59.5%）、地方交付税は2.3億円（4.0%）減少しました。

市債（市の借入金）は、前年度に比較し3.2億円（20.5%）の減少となりました。

一般会計の歳出の状況

一般会計の歳出は前年度に比べて約2億915万円、（率にして1.0%）の増加です。主なものは下水道事業特別会計の経営健全化推進のための